

長九郎シャクナゲ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署

関東森林管理局 伊豆森林管理署

所在地

静岡県賀茂郡松崎町

面積

7.38ha

設定年

平成3年(設定)、平成30年(名称変更)

保護林の概要
(設定目的)

長九郎山頂部にある、ホンシャクナゲの亜種にあたるキョウマルシャクナゲ(アマギシャクナゲを含む)の群落で、学術上貴重である。また、保護林の一部には、キョウマルシャクナゲ(アマギシャクナゲを含む)の本来の生育立地であるブナ群落も分布している。このため、キョウマルシャクナゲ(同)が生育する群落、及び、ブナ群落の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



アマギシャクナゲ生育状況

モニタリング調査概要

実施年度

平成22年、平成27年、令和2年、令和7年

調査項目

資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査

調査手法

森林詳細調査として、アカガシ-アマギシャクナゲ群落において調査プロットを計1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。

結果概要

林相等に大きな変化はみられなかった。ニホンジカによる影響については、採食圧の影響で草本層の下層植生が非常に乏しい状況であるものの、保護対象種であるキョウマルシャクナゲ(アマギシャクナゲを含む)アマギシャクナゲに対しては被害が軽微であり、調査プロット外では多数の稚樹が確認されている。